

[026_05/06] 經濟學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4370963>

出版情報：經濟學研究. 26 (5/6), 1962-04-25. 九州大学經濟学会
バージョン：
権利関係：

序

向坂逸郎先生のお生れは明治三十年二月六日ですから、昭和三十二年二月六日で還暦を迎えられることになりました。大正十四年に二十八才の若さで法文学部助教授に任官された時から数えて三十二年目に当ります。昭和三年四月から戦後の民主化までの十七年間は本学を離れておられたわけですが、二十一年に再び本学の教壇に立たれるようになられてからも、はや十一年を教えることになりました。

元氣一ぱい、青年のように若々しいお氣持、頑健な肉体の持主であられる先生には、還暦などという旧慣はふさわしくないかも知れません。私どももまた世間一般に行なわれているような意味で先生の還暦をお祝いしようとは思っていません。けれども、三十二年といい、十一年といい、やはり相当に長い年月が経過したことになるわけですから、これを一つの機会として、日頃教えをうけている私どもがそれぞれの専門分野での研究をまとめて論文集を作り、先生に捧げることが計画しました。先生にはどうか氣持よくお受け下さるようお願いいたします。

この論文集の編集に最初主としてあたっていた近江谷左馬之介君が、思いがけない病氣のために執筆できなくなったのは最も残念なことであります。他にもまだ執筆の氣持をもちながら時間的な制約で加わっておられない方々もあるわけですが、それらの方々には一応の区切りをつけるために断念していただきました。

先生の益々御壯健であられることを祈るとともに、今後とも私ども後進を御教導下さいますようお願い申し上げます。

九州大学 経済学会 長

岡 橋 保